

「２学期を迎えて」

熊本地震の影響で夏休みが短かった学校が多かったようですが、本校では例年どおり 9 月 1 日に 2 学期の始業式を行いました。訪問教育自宅生の始業式も台風接近が心配されましたが予定どおり 5 日に行うことができました。どの児童生徒も元気に 2 学期を迎え、夏休みの思い出を友達や教師と笑顔で振り返っていました。久々に児童生徒の姿が見え、声が聞こえると、学校は児童生徒がいてこそ「学校だ」と思いました。



16 日には、海に見える丘コンサートを校内で開催しました。当日は訪問教育の生徒たち 3 人も御家族や看護師さんとスクーリングで参加することができました。今年度は、津軽三味線演奏家の高崎裕士さんを招いて演奏していただきました。高崎さんのオリジナル曲だけでなく、「ふるさと」や「サンバおてもやん」の演奏もあり、みんなで歌ったり、リズムをとったりして、たいへん盛り上がりました。また、コンサートのなかで、「三味線を弾きたい人！」との呼びかけに、中学部の生徒が勢いよく手を挙げ、立候補しました。三味線のバチを持たせてもらい、高崎さんと一緒に「七夕」を演奏して、会場の喝采を浴びていました。日本らしい旋律が心に染み入り、和楽器の良さを感じたコンサートでした。



2 学期が始まったばかりですが、教職員は今年度上半期の業務遂行状況の自己評価をしているところです。「学習指導はどうであったか」「生活指導は」「校務分掌は」とテーマごとにそれぞれに評価しています。評価後には面談を行いますが、職員の日々の取組が児童生徒の可能性を伸ばすことにつながるので、しっかりと面談をしていくつもりです。また、年度末には学校評価も取りまとめますが、「保護者・地域等との連携」はどうでしょうか。半年間を振り返って、足りない点は下半期に取り組んでいかなければと思っています。御意見等何かありましたら、学校へお知らせください。

平成 28 年 9 月 29 日